

高専 沖縄高専だより

Okinawa National College of Technology



平成24年度入学式の模様

目次

1. 校長より (これからの歩み～より高度な教育環境の実現を目指して～).....2	12. キャリア支援室活動紹介.....12
2. 総務主事・教務主事あいさつ.....3	13. 学生会より.....13
3. 学生主事・寮務主事あいさつ.....4	14. 寮生会より.....14
4. 後援会長・事務部長あいさつ.....5	15. 海外ホームステイ・留学生紹介(3年 ケヴィン チョン)....15
5. 第1学年主任・第2学年主任より.....6	16. 太平洋島サミット・俳句大賞.....16
6. 学科長より.....7～9	17. サマースクール開催.....17
機械システム工学科・情報通信システム工学科	18. オープンキャンパス参加者数の推移と参加者の様子.....17
メディア情報工学科・生物資源工学科・総合科学科	19. 平成24年度
7. 専攻科長より.....9	沖縄県高校総体結果一覧.....18
8. JABEE認定と、それが意味するもの.....10	全九州高校総体結果一覧.....19
9. 学生相談室より.....10	九州沖縄地区高等専門学校体育大会結果一覧.....19
10. 図書館・保健室より.....11	20. 平成24年度人事異動について.....18～19
11. 地域共同テクノセンター活動紹介.....12	21. 平成24年度(後期)行事予定表.....20



これからの歩み

－より高度な教育環境の実現を目指して－

校長 伊東 繁

日頃より本校の学校運営に関し、ご理解ご支援を賜りまして、誠に有難うございます。本校は平成14年に開学し、まもなく10周年を迎えます。今後、さらなる教育の質の向上を目指して、本校のこれからの歩みを進めてまいります。

すでに琉球大学工学部と教育研究交流に関する協定を締結しておりますが、その一環として今年1月末より2回に渡り、両校を会場に研究発表交流会を開催しました。本校からは、専攻科生及び本科5年の専攻科進学予定者が発表を行い、多くの教員・学生も参加して、大変活気のある交流会となりました。取り組んでいる研究内容を発表し、他者からの評価を得ることは、発表者本人のその後の研究活動に弾みがつきますし、最新の情報を得るという意味でも、こうした交流会や学会・国際会議への参加は、大変重要な研究活動のひとつであると考えます。

昨年度のノルウェー王国ナルヴィク大学に続き、今年7月に、スロヴェニア共和国マリボル大学と国際交流協定を結びました。本校の国際交流協定は7校目となります。スロヴェニア共和国は中欧に位置し、自然豊かな土地柄、観光業が盛んですが、おもに工業が国の経済を支えています。マリボル大学は文系及び理系の16学部を擁しており、本校の各学科との交流に発展することを期待しています。今後、講演会の開催や、教員ならびに学生の学術交流を進めてまいります。

学生諸君には文化や思想の異なる外国人学生、研究者との交流にも積極的に関わり、国際性を養ってほしいと思います。特に専攻科生は専門知識の修得にとどまらず、国内外での研究発表の機会を得て多くの研究者と交わり、環境・社会・産業の情勢あるいは課題について広く捉えられるよう見識を深め、自身の研究や進路に活かしてほしいと思います。その環境整備に努めてまいります。

また今年度、沖縄科学技術大学院大学と連携協力に関する協定を締結しました。共に、教育及び研究機能の向上を図り、地域に根ざした、地域経済の発展につながるイノベーションの創出に取り組んでまいります。

さて、今年入学した新入生にとって、初めての試験を終えました。結果の思わしくなかった科目があれば、担当の先生に早めに遠慮なく質問し、自主学習の時間を充分取ってほしいと思います。学習への取り組み方を含め、学生生活に不安なことがあるようでしたら、各担任の先生や学生相談室にも気軽に相談してください。中学校から大きく環境が変化し、時間管理など難しいところがあるかもしれませんが、本校での学生生活はまだ始まったばかりです。過度に不安に思う必要はありません。一つひとつ、確実に取り組んでいきましょう。上級生諸君は、卒業までに残された時間ということも意識して考えてみましょう。卒業後の進学や就職への準備も含めて、今すぐにでも取り組むべき課題が見えてくるかと思います。

最後に、かつてアメリカの大リーグで活躍した名選手、スタン・ミュージアル氏の言葉を紹介します。彼はマイナーリーグから実績を積み、投手として才能ある選手でしたが、試合中に左肩を負傷し、投手をあきらめざるを得ませんでした。その後、打撃に専念し、MVPなど数々の輝かしいタイトルを獲得し、1969年には野球殿堂入りを果たしました。そのミュージアル氏の言葉です。

「私の誇りは打率の高さやホームランなどの数字ではなく、数知れぬ敗北とスランプから、そのつど立ち上がったことだ」

何かを成し遂げるとき、その過程に多くの失敗も伴います。学生時代にやるべきこと、今しか出来ないことがあります。学生諸君には、自分の目標や課題に向けて、失敗してもあきらめず、挑戦する姿勢を貫いてほしいと思います。コンテスト、部・同好会活動への参加、学生会の活動や地域ボランティア活動など、課外活動にも積極的に参加し、心身を鍛練し、二度とない学生生活を有意義に過ごしてほしいと願っています。

我々教職員も一丸となって、より良い教育環境の実現を目指してまいります。今後共、後援会会員をはじめとする保護者の皆様、産学連携協力会会員各位、辺野古区をはじめとする地域住民の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



総務主事あいさつ

総務主事 松栄 準治

昨年度に引き続き総務主事を拝命致しました機械システム工学科の松栄準治です。このような機会に皆様にご挨拶させていただきますのも、今回で4度目となります。これまでのご挨拶の中で、昨年度、一昨年度における高等専門学校機関別認証評価および日本技術者教育認定受審 (JABEE) について紹介させていただきましたが、お陰を持ちまして無事認定を受けることが出来たことを報告させていただきます。これも偏に後援会、協力会および教職員の皆様のご協力の賜と、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。本年度は沖縄高専自主活動としての外部評価を実施すること、および来年度のJABEE再審査に向けての準備期間となります。JABEE再受審は、JABEE認定を一期生に遡って適用できるようにしたため、本来より一年前倒しの受審となります。加えて、来年度は沖縄高専学生受入から丁度10年となるため沖縄高専奨学支援基金設立をはじめとする10周年記念行事を予定しております。2012年度は、これらの準備のため忙しい年となることが予測されます。

先ほどの10周年記念行事につきましては、郵送では御座いますがご協力をお願いを送付させて頂き、募金活動を開始いたしましたところ、多くの保護者様より募金のご協力を頂いております。紙面上での御礼となりますが、ご協力大変有り難う御座います。厳しい諸事情のなかのお願いは心苦しいところでは御座いますが、学生支援活動であることをご理解頂き、是非ご協力頂きますようお願い申し上げます。

総務関連の業務は、本校の組織編成や予算、将来計画および自己点検・評価に関する活動となります。直接学生に関わる業務は少ないのですが、これらの活動を通してより多くの優秀な学生を輩出する教育体制を構築し、地域および日本のものづくりに貢献することを目指しております。今後とも、学生支援の一環とご理解頂き、ご指導ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。



教務主事あいさつ

教務主事 平山 けい

昨年度に引き続き教務主事を拝命しております生物資源工学科の平山けいです。沖縄高専は、人々に信頼され開拓精神あふれる技術者の育成により社会の発展に寄与することを理念としている高等教育機関です。つまり、5年間または7年間で身につけた知識や技術を活かし、社会に貢献することが本校で学ぶ皆さんの大きな使命です。すでに、沖縄高専卒業生として県外はもとより地元沖縄で地域社会に貢献すべく働いている先輩方がおられます。在校生の皆さんには、是非とも必死で技術や知識を習得し、自分自身に磨きをかけて先輩方に続いて欲しいと思います。沖縄高専は、県内外の多くの方々からの温かく大きなご支援をいただきながら、今年ようやく創立10周年を迎えました。学生の皆さんには、今この学校で学べることに感謝しながら自分たちの夢や将来を語り合い、切磋琢磨してくれることを願います。

本校は、中学生を卒業したばかりの本科1年生から専攻科2年生まで7歳年の離れた学生が1つのキャンパスで同じ様な目標に向かって学んでいるユニークな学校です。この学生の年齢層を考えただけでも、沖縄高専がどれだけ先輩や後輩に恵まれている学校であるかわかるはずですが、クラスの中で、部活で、授業で、創造研究で、イベントで、それぞれが意識を持ってお互いを高めあう日々を送っていきましょう。後輩への思いやりに満ちた先輩が大勢いる学校です。下級生の皆さんは、どうぞ先輩を頼ってください。上級生の皆さんは下級生の悩みや不安を聞いてあげてください。専攻科の学生は、本科の学生にももの創りや研究することの大切さ楽しさを教え、伝えてください。自分達が歩む道をすでに進んできた先輩方の言葉は、後輩にとっては、貴重で重みがあるはずですが、横のつながり、縦のつながり、沖縄高専で紡ぐつながりを強固にして欲しいと願います。今、ここ沖縄高専で出来たつながりは間違いなく一生大切な宝となるはずですが。

保護者の皆様には、日頃から本校に対するご支援とご協力をいただき心から感謝申し上げます。お子様の将来に関しては、親子の話し合いが早すぎるということはありません。どうぞ早いうちから将来の夢を親子で語り合っていたきたいと存じます。学校・寮生活など日々の暮らしに関してもお子様との十分な語り合いの時間を持っていただけるよう御願いたします。夏休みには、学校から送付される成績票を参考にお子様の今後の目標ややる気を引き出す話し合いをしていただければ御願いたします。最後になりましたが、今後とも本校の学生のために保護者の皆様の変わらぬご支援をいただけますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



学生主事あいさつ

学生主事 眞喜志 隆

日頃より本校へのご支援ありがとうございます。高校総体参加も無事終了いたしました。ご存じのように、自転車競技で全国大会への出場が決定いたしました。また、今年度は7/14～15および7/20～22の日程で九州沖縄地区の高専体育大会が開催され、女子バスケット及び水泳女子3種目が全国大会へ出場となりました。課外活動に対して、派遣費の補助をはじめとして、後援会よりのご支援や、日頃の練習等への保護者の方々のご協力、関係教職員の方々に感謝申し上げます。

さて、本校も来年は開学10周年を迎えます。開学記念行事に向けての準備も進めております。地域に根差した沖縄高専を目指して、手づくりの開学記念行事を計画しております。本校教職員や在校生だけではなく、卒業生や保護者の方々、関係各位の方々のご協力を得ながら記念行事を進めていくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

生活面に関しては、自宅以外の寮外で暮らす学生の生活面での乱れが気になっております。このため、まずは実態把握を行うため、アパートで暮らす学生の実態調査を予定しております。この件に関しまして、保護者の皆様のご協力をお願いすることとなりますのでよろしくお願いいたします。

また、ここ数年は交通問題についても頭を痛めております。今年度から、6月に交通安全週間を設けており、学生会の活動や学校集会、学年別の集会を行うことで交通安全に関する注意啓蒙を行っておりますが、交通事故や違反が発生しております。各ご家庭におかれましても、自動車や二輪車を運転することについて、今一度お話しいただくようお願い申し上げます。

より良い学校生活の実現に向けて、今後とも努力いたしてまいります。



体育祭



寮務主事あいさつ

寮務主事 山城 秀之

3代目の寮務主事となります。マンモス寮の管理運営に微力ながら尽くしていく所存です、よろしくお願いたします。寮の管理運営には寮務係職員、指導員、学生寮委員会委員、看護師を始め、宿日直にあたる教職員、寮食を提供するレストランの方々他、多くの人たちが関わり多方面からサポートしています。

550余名の学生の影響は良くも悪くも甚大です。また、一部の寮生の違反が550余名への縛りとなることもあります。全て×550倍ということを目に念じて、寮生はルールを守り、自律した行動を取るようにお願いします。

耳の痛い話ですが、今年度のたった3ヶ月余で既に様々な違反があり、その度に注意喚起を行ってきました。安易な考えや行動が目立ちます、中には大きな代償を払うこともあります。社会に出てからだと取り返しがつかない結果に繋がることを避けるためにも、ミニ社会の寮生活を通して自分を高め、協調性やリスク管理を身につけてもらえればと思います。保護者におかれましても、日頃から学校や寮の生活について情報を共有していただければ幸いです。

今年は、寮設立以来ずっと働き続け、故障が目立ってきた洗濯機・乾燥機の全面更新を実施します。寮生からは不満が多かった本件ですが、夏季休業期間が明けると洗濯室に真新しい洗濯機等がお目見えします、大事に使用して下さい。他高専から見学に来られた方は異口同音に沖縄高専が羨ましいとの評価を頂きます。そのほとんどは我々が当たり前と思っていることです。是非、他高専のHPを見ることをお勧めします。高専に限らず自分の立ち位置をしっかりと把握できることを期待しています。



避難訓練



後援会長あいさつ

後援会長 中本 正泰

沖縄高専は、今年、本科9期生並びに専攻科3期生が入学し、来年は、創立10周年記念事業が執り行なわれます。

平成16年4月に第1期生を受け入れて以来、教職員の皆様をはじめ多くの関係者の方々のご尽力のもと、素晴らしい校風と実績を築いてまいりました。

卒業生の進路を見ましても、厳しい経済・雇用環境のなかにあって、県内・県外企業をはじめ、大学及び大学院への就職・進学を果たし、技術者・研究者として、それぞれの進路を切り拓いております。

こうした成果は、学生の皆さんはもとより、教え導いて下さった教職員並びに会員の皆様をはじめ、関係者の方々のご支援・ご尽力の賜であると受け止めており、深く敬意を表しますとともに、後援会の基盤をつくりあげていただきました歴代の会長並びに役員・理事の方々に対し、心より感謝を申し上げます。

本後援会は、沖縄工業高等専門学校における教育・研究事業を支援するとともに、会員相互の交流・連携を図ることを目的として活動を展開しており、今後とも、充実した取り組みを行っていく必要があると考えております。

会員並びに役員の方々の皆様のお力をお借りして、『明るく、楽しい、元気のある』後援会活動のため、全力を尽くす所存でありますので、会員お一人おひとりのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



後援会総会での新役員の紹介



事務部長あいさつ

事務部長 川満 信男

——「沖縄高専OB会」に参加して——

沖縄高専に来て、早いもので、今年三年目に入っており、来春には退職の運びとなっております。

沖縄高専で、非常に印象に残った組織があります、それは「沖縄高専OB会」です。

「沖縄高専OB会」とは、どういう組織なのか、「会則」から紐解いてみると、本会は、会員等の親睦を図り、沖縄高専を側面から支援することにより沖縄高専の発展及び設立の理念に資することを目的として設置されており、会員は沖縄高専及びその関係機関に籍を置いた者のほか、役員会が承認した者をもって組織するようになっており、平成24年7月1日現在、会員数は五十数名に膨れ上がっています。

7月29日(金)に、「平成24年度沖縄高専OB会総会」があり、顧問である沖縄高専校長(伊東 繁)と出席してまいりました。総会の中で学校側からの近況報告並びに来年度創立10周年を迎える記念事業等について、述べさせて頂きました。

まず、近況報告として、沖縄高専初の全国総体選手として、自転車スクラッチ競技に機械システム工学科3年次の宮城 祥が出場します。次に、第47回全国高等専門学校体育大会に、昨年に続きバスケットボール(女子)、水泳競技(女子)にメディア情報工学科1年次の濱元 幸(種目:自由形100m、バタフライ50m)と情報通信システム工学科2年次の金城優生(種目:100m平泳ぎ)がそれぞれ出場することとなっております。

また、入学者(優秀な学生)の確保のため、校長みずから昨年は北部12市町村を訪問し、今年は離島(宮古・八重山)中・南部の中学校を訪問し、学校紹介や進学・就職実績のアピールを行い、認知度の向上に努めています。

次に創立10周年記念事業について、沖縄工業高等専門学校創立10周年記念事業実行委員会の基に4つの部会(記念式典部会、記念誌編纂部会、事業部会、募金部会)を設置し、各々の部会で鋭意努力しております。

特に募金部会に於いては、募金期間を平成24年4月1日から平成25年8月31日までとし、目標額を5千万円として、募金を開始しております。

記念式典部会に於いては、式典を沖縄高専体育館、祝賀会を辺野古コミュニティーセンターと決定しております。

以上、簡単な報告ですが、当日は三十数名が集まり和やかでアットホームな「沖縄高専OB会」でした。

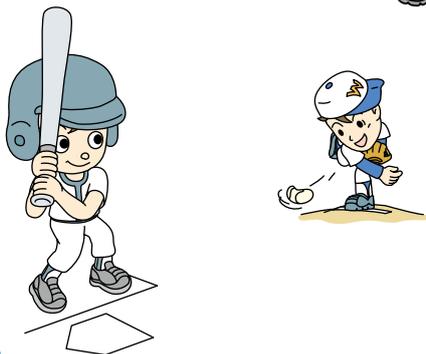


第1学年主任より

第1学年主任 青木 久美

1年生もようやく学校や寮生活に慣れてきたようです。はじめての中間試験で高専での勉強の大変さを思い知った反面、体育祭や部活、寮での団体生活を通じて、友達と力をあわせて何かをすることの楽しさを実感しつつあるように見受けられます。いっばう、朝の遅刻も目立ち始めてきました。学生生活を楽しむのはいいことですが、緊張感はいつまでも失わず、これからも勉強に励んで頂きたいと思います。具体的な目標を持って入学してきた場合はその目標を見失わないように、まだ目標がはっきりしていない場合は、一日も早く目標を見いだせるように、ご家庭でも話し合いの機会を是非持っていただきたいと思います。また、勉強や進学について、疑問点などがございましたら、いつでも学級担任や学科担任にご相談ください。

今後とも保護者の皆さまがたのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



2学年の様子

第2学年主任 澤井 万七美

高専に入学してからあっという間の1年間を経て、この春からは先輩としての顔も持つことになった2年生の学生たち。寮や課外活動においても指導的な立場につく学生が増え、人間的に大きな成長を遂げる1年間になりそうです。また、4月末の体育祭や授業でのグループ学習等を通じて、新しい友達の輪が広がっているようです。3年生からは完全に学科別になるため、混合学級であるこの2年生の間に、幅広い交友関係を育ててほしいと願っています。

5年間という長い高専生活は、じっくり自分のしたいことに取り組める反面、いわゆる「中だるみ」に陥るリスクもないとはいえません。沖縄高専では、学生ひとりひとりが自分の夢を叶える力をつけられるように、早期からのキャリア教育に取り組んでいます。

6月には、教務主事(平山けい)による講話「かなえない夢がありますか」が2年生全員を対象に行われました。

「目標を持って学んでいますか?」「友人と磨き合っていますか?」

といった問いかけを、会場を巡りながらの語りかけに、学生たちも真摯に耳を傾けていました。「5年後、10年後の自分を思い描いてください」と言われて、自分の夢のために、今なすべきことをしなければ……と、決意を新たにした学生の心が、講話後のレポートにつづられていました。

学科別の枠でも、先輩たちの体験談を聞く機会が設けられ、高専ならではの特色ある教育は、より充実したものとなっていきます。それを受け止め、自分の力に変えていくのは、ほかならぬ学生ひとりひとりです。

今後とも保護者の皆様方の御理解ならびに御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



教務主事講話の様子



機械システム工学科

機械システム工学科長
宮田 恵守

機械システム工学科では、理論と実践が両立しバランスのとれた技術者の育成を目標とした教育を行っています。機械工学は非常に幅の広い分野です。本校では『基礎科目群』、『材料システム群』、『設計システム群』および『システム制御群』の4分野に分類された教育を受けます。確固たる工学基礎知識を基に、「どのような材料を選び、どうに加工するべきか」、「要求される強度・機能・性能を満たすためにはどのような設計が必要か」、「どのようにして動かし、コントロールすれば高い性能を発揮できるか」を学びます。「工学」的な手法を駆使してモノづくりのできる技術者を育成します。第1学年の基礎的な内容から、第5学年での高度な応用まで、段階的に学習していきます。これらの教育に利用する設備も、レーザ加工機・マシニングセンター・大規模CAD・CAM・CAE等、たいへん充実しています。

今年3月に4期生が卒業いたしました。就職、進学とそれぞれの道を歩んでいます。どのような産業においても、モノづくりに機械は欠かせません。本校の卒業生も産業機械や自動車といった機械工業の分野だけでなく、鉄鋼や電力、ガス、化学、食品といった幅広い産業分野の、それぞれ日本を代表する企業で活躍しています。

教員12名・技術職員4名の体制で、本科191名、専攻科12名へのきめ細かな教育・指導を行っています。地域の産業界ともより連携を深め、よりよい高専・学科を創るべく教職員一同努力していきたいと考えています。



情報通信システム工学科

情報通信システム工学科長
比嘉 勝也

「ちょっぴりの意識からの挑戦」

高専は、本科5年間で専攻科2年間を含めると長い人で7年間で過ごす学習の場です。日本の技術力を支える若い技術者育成を目的として始まった高専というシステムは、県外では長いところでは約50年の歴史があり、その卒業生は産業界の様々な場面で活躍しています。沖縄高専はまだ4期生までの卒業生を輩出したところであり、その若い卒業生はこれから県内外または海外で活躍し、また活躍が期待されています。情報通信システム工学科では、情報社会において様々な技術的問題に対応できる技術者の育成のため、情報技術を支えるソフトウェアとハードウェアの両方の知識および技術をバランスよく修得できるカリキュラムによる学生の情報技術者教育を行っています。本学科では昨年度に続き本年度も進路決定率100%を目指しています。ととと…

さて堅い話は置いて、学生諸君は高専生活をどのように過ごしていますか？毎日、レポート宿題、PBLの準備などで忙しく過ごしていたり、部活やアルバイトを頑張っていたり、5年生の皆さんは就活や進学さらには卒業研究で忙しい日々を送っているのではないのでしょうか。学生の数だけ高専5年間の過ごし方があり、誰一人同じは無く、また優劣も無く、あなただけの過ごし方があると思います。ただ5年間の間には自分の過ごし方に不安や迷いあるかもしれません。そういうときは、“ちょっぴりの意識”を勧めます。

皆さんは駐車場のブロックの間に可憐な小さな花が咲いていることを知っていますか？意識しなければ気づかず踏みつけてしまいそうな小さな花。それでお腹がいっぱいになるわけでもお金持ちになるわけでも数学の公式が覚えられて勉強ができるようになるわけでもありません。それがなんだと言われればそれまでですが、小さな花に気づいた日はちょっぴりですが幸せで得した気持ちになりますし、ただそれだけで良いのです。ちょっぴりの意識をすることで変わらず退屈と思っていたそれまでの身の回りや高専生活の中に、見過ごしていた様々なことやチャンスが実はたくさんあることに気づかされます。その中から何かを感じたり考えたり調べたりそして挑戦したりすることでまた新しい何かを見つけことができるのではないのでしょうか。高専の5年間は長い人生の中ではわずかな時間ですが、その期間に様々なことが学べ、それは将来のあなたの宝になることと思います。何もしていないことに焦り不安になることもあるかもしれませんが大丈夫 大丈夫!! 5年間もあるのだから。

“ちょっぴりの意識から挑戦してみる”、このことから始めてみてはどうでしょう。



メディア情報工学科

メディア情報工学科長
正木 忠勝

メディア情報工学科はコンピュータの利用技術・応用技術を中心とした情報工学を学ぶ学科です。1～3年の低学年は基礎に重点をおいた専門技術を、4,5年は応用技術を中心としたカリキュラム構成になっています。また、本学科では学内での教育だけにとどまらず情報処理技術者試験を始めとする各種資格取得や情報オリンピック、パソコン甲子園等全国レベルのコンテスト参加に力を入れています。さらに、専門実習入試を実施し、専門的分野に特にセンスのある学生を受け入れており、専門実習入試で入学した学生がコンテスト等の活動の中心的存在として活躍しています。

学科の近況を紹介します。3月に卒業した5年生は14名が進学、22名が就職し、新しい環境の元で頑張っています。卒業生と入れ替わるように4月に42名の9期生の新入生が入学しました。9期生は成績も良く大変優秀な学年だという印象があります。2年生は1年の時から倍増した専門科目と格闘しており、中学校の延長では無い高専の学生として成長しています。3年生は秋に関西方面に研修旅行に行きます。将来の自分のキャリアを考えるきっかけにしてもらいたいものです。4年生は8月中旬から9月下旬にかけて企業にインターンシップをします。自分の進路を真剣に考える時期です。5年生は7割の学生が就職、進学を進路を確定させています。まだ決まっていない学生も頑張っています。さらに、高専で学んだことの相対性である卒業研究に取り組んでいます。

メディア情報工学科はこれからも社会で実践的に活躍できる技術者の育成に努めてまいります。ご理解とご協力を引き続きよろしくお願いします。



オープンキャンパス



生物資源工学科

生物資源工学科長
濱田 泰輔

昨今の異常な降雨による水害をはじめ、食糧やエネルギー不足、環境汚染など現代社会は様々な問題を抱えています。とりわけ緊急な課題は震災復興や原発問題に関わるものでしょう。これらの問題を解決するため、生物の機能を、食糧やエネルギーおよび有用化学物質の生産へと、あるいは汚染物質除去へと応用する技術開発はますます重要となってきました。

現在、生物資源工学科では特に、亜熱帯特有の生物資源が持つ有用物質の特性の評価や利用、更には有用機能性物質の産生へのバイオテクノロジーの適用や新たな技術の開発をテーマとして取り上げ、学生と共に研究し、将来の技術開発を担う技術者、研究者の育成に励んでおります。本年4月からは、嶽本あゆみ助教が熊本大学から着任いたしました。衝撃波を用いた食品加工の研究をされており、食品加工に関わる基礎的な実験技術の講義を担当します。新たな技術開発が期待されます。

教育に関しましては、今年度も県内外の各企業様、各機関様にはインターンシップで学生を受け入れていただき、そのご厚情に深謝申し上げます。さらに、研究に関しましても多くの企業様と様々な共同研究テーマに取り組ませていただいております。

さて、今年度の5年生の進路に関しては、就職・進学共に非常に厳しい状況です。しかし就職希望15名、進学希望21名の全員が、目標に向けて全力で立ち向かっています。

最後になりますが、今後とも皆様のご支援とご指導を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。



バイオテクノロジー基礎実験（本科1年）



総合科学科

総合科学科長
網谷 厚子

1年生が入学して前期が終わろうとしています。第2期生から毎年、卒業する5年生に「(まだ見ぬ)先輩に贈る言葉」を「文学概論Ⅱ」の最後の授業で書いてもらっています。長い5年間(もっと長い学生もいますが)を終えようとしているその時、すでに進路がほとんど確定したその時、彼らの脳裏には様々な思い出が駆け巡っています。入学前のこと、様々な不安と期待、「思い出してね」と言いながら、書いてもらっています。入学式の日のことを、昨日のことのように思い出せる学生もいます。一生懸命新入生に「頑張れ!」のエールを送ってもらいました。卒業する先輩にしか伝えられないことがあります。araの第1学年のフォルダに今も入っています。いち早く読んでくれた1年生から、「このとおりできるかどうかわからないけれど、頑張ります」のメールも届きました。

どんなに家族や先生が言っても届かない思いが、先輩ならほんの一言で伝わることがあります。本校の勉強・研究の辛さ、楽しさ、友人との出会い、高専で過ごした、寮生活を送った先輩の言葉は重いと思います。そんな橋渡しも総合科学科だからできるのではと思っています。

総合科学科は、入学した学生がまず一番多くのことを学ぶ教科・科目の先生方がいるところです。第5学年、そして専攻科まで、授業ではかかわっていきませんが、第1・2学年でのクラス担任・副担任やクラスメートとの交流は、高専生の大事な基盤を形作る大切なものと考えます。また、教科・科目を通して、全学科の学生と接することができるのも、総合科学科の特徴です。

何か不安に思うこと、疑問に思うこと、授業でわからないことがあったら、気軽に総合科学科の先生の研究室を訪ねて欲しいと思います。保護者の方々もご遠慮なくいらしてください。専門学科とは違った文化系や多様な専門の先生方との交流も、幅広い教養や考え方を身につけるのに役立つのではないのでしょうか。



専攻科長より

専攻科長
三枝 隆裕

沖縄高専では、平成21年に初めて専攻科生を迎えて、今年度は4期生が専攻科1年生として入学しました。

全国には、国立高専が51有りますが、その全てに専攻科が設置されており、128専攻に約1300名の学生おり、約1割が女子学生です。本科5年の後にさらに2年間学が専攻科のメリットとしては、以下の事項が挙げられます。

1. より高度な専門性を磨ける。
2. 本科卒業研究の延長で研究ができる。
3. 大学より学費が安い。
4. 入学後の時間的ロスが少ない。
5. 同じ仲間と学べる。
6. 学校生活(寮、部活、各種イベント)の継続。
7. 学位(大卒)の資格を取れる。
8. 大学院に推薦等で入れる。
9. 専門性を生かした就職が可能である。

専攻科は、7年間の継続的教育を生かし、複合的・実践的なカリキュラム及びより高度で専門的なカリキュラムを通じ、複合的な専門性を備えた創造的実践的な課題解決型の技術者を育成することを目指しています。さらに、本科からの同一教員による一貫した研究指導、現実的な課題の解決策探求教育、PBL教育、他学科との共同作業などで創造的実践力の育成を図ります。

進路に関しては、全国では、専攻科の約65%が就職、約35%が進学しております。沖縄高専では、1期生27名に対して進学12名と就職15名、2期生32名に対して進学15名と就職17名でしたが、現在活動中の専攻科2年生である3期生24名の希望は進学9名と就職18名と就職の割合が高くなって来ています。進学実績では、専攻科推薦枠も活かして、東大、京大、九大などへの大学院入学が達成され、就職では、大学生との競争になりますが、実践力と専攻科推薦枠も活かして、県内外の有名企業の専門を生かせる職種へ就業できています。

専攻科2年生は、進学・就職活動と並行して、大卒資格獲得のため学位授与試験に取り組まなければなりません。10月初めには、特別研究内容をまとめた学修成果レポートを学位授与機構に提出し、その提出レポートを基に作成された小論文試験を12月に福岡で受け、合格しなければなりません。ただ、これまでに学位授与試験を受けた1,2期生は、学位を100%取得しております。

専攻科生には、夏休みが正念場となりますが、全力で乗り越えて欲しいと願っています。

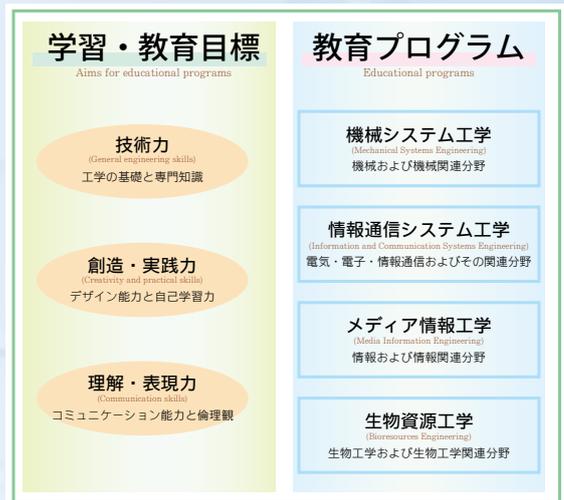
JABEE 認定と、それが意味するもの

JABEE 対応委員長 政木 清孝

沖縄高専では、各専門学科の本科4年生・5年生と専攻科1年生・2年生の計4年間の教育課程を利用して、技術者に必要な「技術力」、「創造・実践力」、「理解・表現力」を養成するための4つの技術者教育プログラム（機械システム工学プログラム、情報通信システム工学プログラム、メディア情報工学プログラム、生物資源工学プログラム）を設置しています。学位の審査に合格して学位記を授与され、専攻科各コースの課程を修了した学生は、本人の希望により各コースの定める技術者教育プログラムの修了生として認定されます。この技術者教育プログラムの設置は本校設立の計画段階から既に計画されていましたが、平成23年3月に専攻科一期生を輩出し、その後の11月6日～8日の三日間の実地審査を経て、平成24年4月27日に日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering:通称 JABEE）から、4つの技術者教育プログラムの内容が社会の要求する知識や能力の水準を満たしていると正式に認定されました。本校の技術者教育プログラムが JABEE によって認定されたことは、何を意味するのでしょうか？

JABEE による大学・高専の設置する教育プログラムの審査は、日本にある様々な技術系分野の学協会と連携して行われます。また、日本技術士会とも連携しており、技術者が取得できる国家資格の中でも上位に位置する「技術士」を取得する際、JABEE 認定プログラム修了生はその一次試験（筆記試験）を免除されます。このことが修了生のメリットとして採り上げられる事が多いのですが、JABEE 認定の本質はそこではありません。現在、複数の国や地域にある教育機関が、お互いの技術者教育プログラムを同等であると認め、協定を結んでいます。JABEE も正式にこれらの協定に加盟しています。このことは、JABEE に認定された技術者教育プログラムが、協定に加盟する他の技術者教育プログラムと同じ考え方で教育し、国際的にも同等の教育内容であることを意味しています。すなわち、プログラム修了生は、国際的に通用する技術者教育を受けた人物であることが、卒業した学校ではなく外部の機関によって保証されるのです。本校の設置する技術者教育プログラムの JABEE による認定は、専攻科一期生に遡って適用されましたので、国際的にも質の高い技術者教育を、本校が開校当初から行って来たことを外部組織が認めたこととなります。

また、JABEE の認定で重要なことは、その教育機関で教育内容の改善が継続的に行われていることを条件としていることです。JABEE 認定を受けた教育機関では、国際的に同等の技術者教育を行うための教員組織、教育設備、学生サポート体制などを整え、教育内容の改善を継続的に行うための仕組みを整えて、教育の質を保証・向上するための活動を行わなければなりません。社会の求める技術者に必要な知識や能力などの水準も社会の変化によって変わりますので、それに応じて教育内容を見直して改善しなければならないと、JABEE 認定は教育機関に対して警鐘を鳴らしているのです。



学生相談室より

学生相談室長 西村 篤

学生相談室（以下「相談室」）は、学生の学校生活を学生の権利擁護の観点から支援するための組織です。学校生活の中で、身近な友人や先生に気軽に相談しにくい問題を抱えた時、疾病や障害による修学上の困難が生じている時、いじめやハラスメントに悩んでいる時、その他どのようなことでも、独りで悩まずに相談室を利用して下さい。相談室は常に学生の立場から問題の解決について一緒に考えます。学生のことについて保護者や教職員が利用することもできます。相談の秘密は厳守します。

詳しい利用方法は、[本校のウェブサイト http://okinawa-ct.ac.jp](http://okinawa-ct.ac.jp)（トップページ＞教育・学生生活＞学生相談室）をご覧ください。★夏季休業中もカウンセリングを実施しています。★



学生相談室内の様子

ウェブも見てね!



図書館より

朝の早い時間から閉館間際の夜遅い時間まで、図書館では多くの学生が思い思いに自分の時間を過ごしています。機械工学、情報学、自然科学等の専門書を片手に熱心に勉強していたり、授業に必要な本を図書館ホームページの蔵書検索で探したり、たまには映画のDVDや好きな小説でゆっくりリラックスしたり……。県内外の新聞や就職・進学に関する資料などを活用して「将来の自分」を考える場にもなっています。

図書館は本校の学生・教職員だけでなく、一般の方々にも広く開放しています。やさしい英語でたくさん読む「多読」用の図書も多数そろえていますので、英語の勉強をしたい方もどうぞお気軽にご利用ください。休業期以外の土曜日も開館しています。



図書館内の様子

○図書館の開館時間 (<http://www.okinawa-ct.ac.jp/toshokan/>も併せてご覧ください)

【通常期】平日:8:40~20:00 土曜:9:00~17:00 日曜・祝祭日:休館

【休業期】平日:8:40~17:00 土日・祝祭日:休館

○座席数:108席(延面積:740㎡)

○蔵書冊数:約6万冊(うち洋書約1万7千冊)、視聴覚資料 約1,540点

○雑誌:約580種(継続購入約90誌)

○新聞:8紙(うち英字新聞2紙)

○年間貸出冊数:37,881冊(平成23年度実績)

○学外者への貸出:ご希望の方へ「利用証」を発行します。申請書に必要事項を記入し、身分証を提示してください。

(図書館への連絡:直通0980-55-4037)

保健室より

～熱中症に注意です！！～

看護師 武村クニ子、岸本尚子

夏本番です！暑さに負けないよう体調を整え、熱中症の予防対策に心がけましょう。

対策 ①日よけで直射日光をさける。

対策 ②通気性のよい服装とつばの広い帽子、とくに首と頭を直射日光から守る。

対策 ③積極的に水分や塩分を補給する。

・活動中でも自由に飲水ができるようにすること大切。

・30分毎にコップ1～2杯がめやす。

・1リットルの水に2グラムの塩、梅干し1個と水。

対策 ④日陰など風通しのよい休憩場所で適度に休憩する。

・休憩場所にはクーラーボックスや冷水ポット(0.1%食塩水)。

・体調不良の時は早めに責任者へ申し出る。

・がまんしすぎない。

・具合悪い者を見かけたら責任者へ報告する。

・頭や体を冷やす。

・夜更かしはせず、体調を整えて暑さ対策を実践する。



本校の看護師
(左:岸本さん、右:武村さん)

保健室は看護師が2人(8:30～17:15、12:30～19:00)変則で在室しています。

利用時間は8:30～19:00です。13:00～15:00の時間帯に学生寮で休養の学生を訪室します(状況により出来ないこともあります)。学生のケガや疾病の対応、相談室との連携をとりインターカーの役割を担っています。学生生活を心身ともに健全にすごしていただくためサポートしています。

(tel:0980-55-4054 E-mail: hoken@okinawa-ct.ac.jp)

地域共同テクノセンター活動紹介

沖縄高専地域共同テクノセンターは、沖縄高専と地域との橋渡しを目指して地域社会との連携・交流の推進や教育研究の充実ならびに人材育成に取り組んでいます。

地域共同テクノセンターの年間事業は、沖縄高専フォーラム・情報交換会(11月・那覇市)、共同研究、受託研究・受託試験、技術相談、出前授業、公開講座・生涯学習講座等、さらに、各種展示会参加(沖縄の産業まつり、やんばるの産業まつり等)、高専施設見学会、知的財産セミナー等を実施しています。

理科教育支援として、本島および離島地域小中学校への出前授業を積極的に実施・支援し、ものづくりの面白さと科学への興味を抱ききっかけ作りのお手伝いを行っています。

沖縄高専地域共同テクノセンターは、沖縄高専のもう一つの顔として地域のみなさまへ情報を発信していきます。



沖縄高専フォーラム



沖縄の産業まつり



小学生向け出前授業



沖縄の産業まつり

キャリア支援室活動紹介

沖縄高専キャリア支援室は、平成23年7月に、学生のキャリア形成、学生・卒業生の進学・就職活動を支援することを目的として、これまであった進路委員会を発展させたかたちで本校に設置されました。キャリアアドバイザーによる個別面談、キャリア形成や就職・進学に関する各種セミナー等を通じて、学生のみなさんが、どのような進路があるかを知り、各自の進路を考え、決定していく過程におけるサポートを行っています。



キャリア支援室相談窓口



本校で開催された合同企業説明会

学生会より

学生会長 生物資源工学科4年 平良美奈子



今年度の学生会長を務めております、生物資源工学科4年の平良美奈子と申します。今年の学生会は、これまで先輩方が創ってきた沖縄高専の伝統を確固たるものにするために全力をつくします。例年行なってきた行事一つ一つをよりよくするため、多くの意見を取り入れながら活動を行なっていきます。積み上げてきた歴史をさらに先に繋げる為に、これまでの沖縄高専、これからの沖縄高専、続いていく「伝統」をテーマとして、学生会一同精進してまいります。

会長	平良美奈子
副会長	松田祥揮 國吉和真
総務局長	増千絵
広報局長	一ノ瀬翔吾
風紀局長	金城巧実
会計局長	久保田明成
渉外局長	大湾旭乃

平成24年度 体育祭!!

去る4月30日に本校グラウンドにて第6回体育祭が開催されました。本科生800名がリレーや玉入れ、騎馬戦、障害物競争など様々な競技に参加し優勝を争いました。体育祭の最後を飾ってくれた4年機械のエイサー演舞は圧巻の一言でした。



高専祭開催のお知らせ!

今年で第8回を迎える高専祭。今年も実行委員会により準備が進められています。クラス単位での映像作品や劇、屋台やお化け屋敷など、様々な出し物で皆様をお持て成し致します。皆様のご来場心よりお待ちしております。



寮生会 より



男子寮長
生物資源工学科 4年次
新川 翔也

平成24年度男子寮長の新川翔也です。昨年度は別の役員として寮生会に属していました。今年度は男子寮長という役職で、仕事内容がより責任あるものになっていることを日々感じています。

沖縄高専の学生寮は創立してまだ間もなく、寮の構造も他の高専と大きく異なる箇所が多いため、まだ詳細な寮生会の運営方法が定まっていない状況にあります。今年度はその点について改善していくことで、これからの伝統を作って行きたいと思えます。また、学生会とも協力体制を取ることで、寮生がより暮らしやすい学生寮にしていく所存です。

多々至らぬ点もあるかと思いますが、その際は寮生会へ意見を頂ければ幸いです。問題点が一つでも多く改善できるよう頑張りますので、皆さんのご協力よろしくお願ひします。



女子寮長
メディア情報工学科 4年次
稲福 也美

平成24年度女子寮長の稲福也美です。

今年度、寮生会では、委員会の活動内容を見直したり、全寮生へアンケートを実施しその結果を元に設備を導入したりと様々なことに取り組んできました。また、女子寮では意見箱の設置方法を改め、寮生一人ひとりの声を取り入れられるように努めてきました。

沖縄高専は新設校であり、学生寮ではまだうまく機能していない部分があります。今年度は、来年度以降も続けていけるような仕組みを作っていきたいと考えています。

寮生会でこのような活動を行うことができたのは、寮生のみなさんや寮生会役員、先生方の協力があつたからだと思ひます。後期も寮生が快適に暮らせるように努めて参りますので、ご協力よろしくお願ひします。

寮生会 活動報告

沖縄高専の学生寮も今年で9年目、いよいよ来年度は10周年という節目を迎えます。4月3日(火)に開寮式、新入寮生対面式を行い、寮生活がスタートしました。寮生は本科、専攻科も含めて550人となっており、昨年度より少しだけ人数が増えました。

4月は新寮生に対して、寮生活の指導が主な活動となりました。4月16日(月)には全寮生で学生寮避難訓練、4月25日(水)には今年度最初の全体清掃が行われました。5月16日(水)には2回目の全体清掃、翌週の22日(火)には今年度の予算案を承認する寮生総会を行いました。そして、6月20日(水)に3回目となる全体清掃があり、翌日の6月21日(木)には夏の寮祭が行われ、多くの寮生の参加がありました。6月29日(金)には佐世保高専より寮の訪問があり、双方の寮の運営状況や施設などについて情報と意見の交換を行いました。また、6月30日(土)に行われたオープンキャンパスでは寮内見学ツアーを行いました。

夏の寮祭

平成24年6月21日(木)

今年度は有志で募集したバンド・ダンスを発表していただき、イントロゲーム、○×ゲームなども行いました。終盤では抽選会があり、おかし1000円分やラーメン1000円分などの商品がたくさん寮生に当選しました。

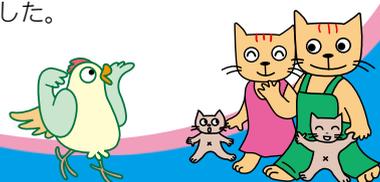


オープンキャンパス

平成24年6月30日(土)

教室では寮内の写真の掲示をしたり、寮の質問窓口を設置しました。

また、毎年恒例の寮内見学ツアーも実施し、たくさんの保護者・入学希望の方が案内係の寮生と一緒に寮内を見学しました。



★★★ 海外ホームステイプログラム ★★★



引率教員 総合科学科 角田 キャティー

沖縄工業高等専門学校では2006年の第1回に続き、第2回ホームステイプログラムを実施しました。本プログラムは国際理解教育の一助として、学生達が米国の家庭や学校に滞在することにより、英語のコミュニケーション能力の向上や米国文化の学習、広い視野にたち物事を捉える能力を形成することを目的としています。今回は3年生2名の学生が参加し、2012年2月29日から3月22日まで計23日間のプログラムでした。米国コロラド州に12日間とミネソタ州に10日間ホームステイを行いました。コロラド州は西部にあり州の南北をロッキー山脈が貫いており、また、ミネソタ州は中西部に位置し多くの湖があり、共にすばらしい大自然に恵まれています。

ホームステイ先の家庭には同世代の子供がおり、彼らが学んでいる高校や大学と一緒に通い米国の教育を実体験しました。また、日本にはない制度であるホームスクールも体験しました。短期間でしたが参加した学生は日本と米国の教育の違いを知ることができました。

ホームステイ先の子供が出演するサッカーやホッケーの試合を家族で応援したり、自分自身のバースデイパーティを含むホームパーティ、乗馬、ピクニック、映画や博物館など米国の家族の日常の営みを体験しました。また、ホームステイ先家族が所属する教会が主催する青年キャンプに参加し、同世代の青年と聖書の学びやスポーツなど様々な交流の時を持ちました。オリンピックトレーニングセンターを見学し、オリンピック選手の練習風景を間近に見て興奮していました。

初めて接する本場のネイティブの英語に大変戸惑ったようですが、彼らの親切な対応で英語でのコミュニケーションを取ることができました。学校生活や家族の営みを中心にアメリカ文化を学ぶことができたほか、多くのアメリカ人の友人ができました。今回のホームステイは、参加した学生の素晴らしい思い出となるとともに、英語学習や国際理解の一層の勉学にむけて、大きな推進力となりました。



メディア情報工学科 宮里 和裕

僕がこの体験への参加を考えると最も気に入っていたことは、経済的な面でしたが、父は快く了解し僕の背中を押してくれました。アメリカに行ってよかったことを挙げるとまず思い浮かぶのは食事のことです。ときどき食べに連れて行ってもらったメキシコ料理もお父さんが作ってくれた手料理も、どれもここでは味わえないものばかりでとても印象に残っています。それ以外にも車が右側走行であること、使う言語が違うこと、食事前にお祈りをするなど、現地の人からすると日常的なことをとても新鮮に感じて毎日が刺激的でした。逆に大変だったことは、やっぱり英語です。特に買い物をするとき店員さんはなかなか手加減してくれないので、買い物するのも一苦労でした。初めてのことに楽しさも自分の思いが伝わらない辛さもいろいろとありましたが、この体験を通して学べたことはすごく良かったし、どれもいい思い出です。この体験をさせてくれた両親、ホストファミリーの方々、そして角田先生に感謝です。本当にありがとうございました。



生物資源工学科 金城 実木子

初めての海外旅行だったので最初は緊張と不安でいっぱいでした。しかし、host familyと実際に会うとフレンドリーで直ぐに緊張がほぐれて話すことがとても楽しかったです。私はこのホームステイでアメリカの宗教やhost familyの私生活を直に触れることができました。実際に体験してみないとわからないことが多く、戸惑いや驚きは絶えなかったのですがどのhost familyと非常に貴重な思い出がたくさんできました。英語にはほとんど自信がなかったのですが、積極的に自分から話すことで少しずつではありますが自信がついてきました。私はこのホームステイでの貴重な体験からもっと英語を勉強して今後の自分の進路に活かしたいと思いました。このような貴重な体験をさせてくれた角田先生や両親、host familyに感謝します。

留学生紹介

メディア情報工学科
ケヴィン チョン (インドネシア出身)



こんにちは、インドネシアから参りましたKevin Cong(ケヴィン チョン)と申します。沖縄高専に来る前、どのような友達・先生に会うのかワクワクでした。そして、実際ここに来て、優しい先生・友達とあって、嬉しかったです。

学校の施設は非常に充実で、何でもあります。プールをはじめ、野球場、テニスコート、バドミントンコートなどあります。とにかく、施設が非常に充実ですよ。

沖縄高専の図書館は極めて良く、どのような本でもあります。スポーツ分野をはじめ、専門分野・社会・経済・雑誌など、文章で書き終われないくらい多いです。その上、英語で書かれた雑誌・教科書・新聞・マンガなどもあります。留学生の私にとっては非常に役に立ちます。みなさん、英語の能力を高めるため、充実な図書館をよく活用して、英語の本を多く読んでください。

ところが、高専に入った頃、家族・友達と離れているため、しょっちゅう孤独を感じました。そんな時、優しい先生・友達が声をかけてくれて、寂しくなりません。今は、友達結構できましたが、僕はまだまだみなさんと友達になり、仲よくなりたい。よろしくお願いします。

高校生・太平洋島サミットに 参加して

生物資源工学科2年 宮里 春奈



5月23日(水)～26日(土)に宮古島市で開催された、高校生・太平洋島サミットを通しての参加報告を致します。

本プログラムでは、太平洋諸国から集まった学生が世界の水事情に関する環境問題をテーマにディスカッションを行い、討論により得た解決策を太平洋・島サミット参加国首脳に提言発表しました。その他のアクティビティーでは、エコアイランド宮古島の環境問題に対する取り組みを学習したり、浄水場を見学したりして、太平洋諸国において導入可能な技術について学びました。

また、バヌアツの学生と宮古島の家庭にホームステイし、一緒に宮古島を観光したり、バヌアツの文化を学んだりして、相互理解を深めました。沖縄高専を紹介すると、目を輝かせて話を聞いてくれ、とても羨ましいと話していました。私たちが沖縄高専という恵まれた環境で学べるのがどれ程、有難く、幸せな事なのかを再認識しました。国や文化の違いを超えた友情や人脈は大きな財産となりました。

この経験を通して視野が大きく広がり、英語力やコミュニケーション能力の重要性を実感しました。日常英会話だけでなく、専門分野にも踏み込んだ内容の会話の上達を目指したいと思います。今後、国際的に活躍を広げられるよう一層力を入れて勉学に励んでいきたいです。

ホームステイ
(宮古島海中公園にて)



ホームステイ
(バヌアツの学生と記念撮影)

本校学生が高校生太平洋・島サミットに参加しました

5月23日(水)～26日(土)に高校生太平洋・島サミットが宮古島市で開催され、本校生物資源工学科2年の宮里春奈さんが参加しました。
本サミットは5月25日(金)・26日(土)に名護市で開催された「第6回太平洋・島サミット」の関連イベントであり、太平洋諸国から集まった学生が世界の水事情に関する環境問題をテーマにディスカッションを行い、討論により得た解決策を太平洋・島サミット参加国首脳に提言発表しました。
宮里さんは「国境や文化の違いを超えた友情は今後の人生で貴重な財産になった。また、この経験を通して視野がぐんぐん広がり、英語力やコミュニケーション能力の重要性を実感した。今後、国際的に活躍できるように力を入れて勉学に励みたい。」と感想を述べ、イベントへの参加は有意義なものとなったようです。



高校生太平洋・島サミットに参加した宮里春奈さん(右から3番目)

高校生太平洋・島サミットに参加したことが、本校のホームページに掲載されました。

伊藤園 お～いお茶 新俳句大賞

第23回「伊藤園お～いお茶新俳句大賞」で 「優秀学校賞」を受賞!



【受賞者】

「優秀学校賞」 入賞 11名

「後援団体賞」 金城 有希

「都道府県賞」 新里 秀平

同 友寄 翔太

同 諸見里 彩子

「佳作特別賞」 伊佐 周平

同 東江 良介

同 羽地 琴野

同 天久 朝恒(卒業生)

同 後藤 匠

同 平良 駿也

同 島袋 拓也

【受賞者】

「佳作」 入選 26名

仲宗根 正剛

池原 侖

久米 剛弘

玉城 由基

比嘉 大優

伊波 香純

松井 拓海

川満 成遂

平良 優乃

当間 弘貴

糸数 大己

島田 博文

宮平 勝人

吉田 豊

棚原 翔

宮城 光

宮越 周平

儀武 菜美子

大城 圭吾

大城 よしほ

屋良 朝軌

仲宗根 浩一

高宮 聖奈

新垣 弥優

近藤 玄基

稲福 智秀

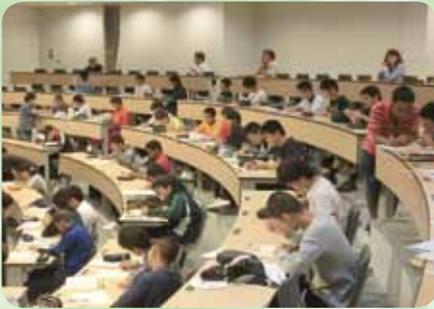
サマースクールを開催しました

本校では、7月28日（土）に平成24年度サマースクールを開催しました。

今回のサマースクールは、中学3年生を対象に模擬授業を行うことで沖縄高専への理解を深め、進路選択の参考にしてもらうことを目的としているもので、今年度は200名の中学生に参加していただきました。

当日は、一般科目（英語、国語、数学、健康科学から1科目選択）の授業の後、4つの学科（機械システム工学科、情報通信システム工学科、メディア情報工学科、生物資源工学科）に分かれ、学科ごとに実験・実習等を含む授業が行われました。また、昼食時には同校レストランでの寮食体験を通じて、学生寮での生活の一端を体験していただくとともに、施設見学を行いました。

受講者からは「とても楽しかった」、「志望学科を決めるのに役立った」などの感想をいただきました。



数学（一般科目）の授業



機械システム工学科（機械力学）の授業



情報通信システム工学科（プログラミング）の授業



メディア情報工学科（専門実習）の授業



生物資源工学科（薄層クロマトグラフィー）の授業



施設見学の様子

オープンキャンパス参加者数の推移について

学生課 教務係

平成19年度	362人【受付確認数】（うち中学生数136）
平成20年度	583人【中学生201,保護者222,教員3,その他157】
平成21年度	717人【中学生272,保護者269,その他176】
平成22年度	672人【中学生224,保護者310,その他138】
平成23年度	556人【中学生184,保護者272,その他100】
平成24年度	728人【中学生249,保護者434,その他45】

【参加者数推移】



平成 24 年度沖縄県高校総体の結果について

平成24年6月2日(土)～6月9日(土)の期間中開催された「平成24年度沖縄県高校総体」において、本校からバスケットボール部、卓球部、サッカー部、バドミントン部、弓道部、ハンドボール部、テニス部及び自転車部が出場し、県内の各高校と対戦しました。大会では各部ともに健闘し、日頃の練習の成果を存分に発揮することができました。特に自

転車部は個人スクラッチ及び個人ロードレースで優秀な成績を収め、個人ロードレースにおいては九州大会に、個人スクラッチにおいては全国大会に出場いたしました。

平成24年度沖縄県高等学校総合体育大会における本校の競技別の結果は以下のとおりでした。会場まで応援に来ていただいた保護者並びに関係者の皆様に感謝いたします。

競 技	競技結果	
バスケットボール(男子)	3回戦敗退(前原高校 122-52)	
バスケットボール(女子)	1回戦敗退(豊見城高校 80-32)	
弓道(男子)	個人戦	上運天 予選敗退
弓道(女子)	個人戦	兼城、石川、桐原 予選敗退
ハンドボール(男子)	1回戦敗退(北中城高校 42-22)	
ハンドボール(女子)	1回戦敗退(那覇高校 42-5)	
サッカー	3回戦敗退(知念高校6-0)	
テニス(男子)	団体戦	1回戦敗退(那覇国際高校 3-0)
	ダブルス	宇良・尾風3回戦敗退 譜久原・酒井2回戦敗退 新地・新井1回戦敗退
	シングルス	譜久原2回戦敗退 宇良1回戦敗退
テニス(女子)	団体戦	1回戦敗退(知念高校 2-1)
	ダブルス	仲地・仲里 2回戦敗退 永山・仲宗根 1回戦敗退
	シングルス	永山1回戦敗退 仲地1回戦敗退
卓球(男子)	団体戦	1回戦敗退(宮古高校 3-1)
卓球(女子)	団体戦	第3位
	ダブルス	町田・山城 ベスト 16
	シングルス	渡保 ベスト 16
バドミントン(男子)	団体戦	準々決勝敗退(糸満高校3-0) ベスト8
	ダブルス	与座・大嶺 3回戦敗退 伊差川・伊波 2回戦敗退
	シングルス	俵 3回戦敗退 福原 3回戦敗退
バドミントン(女子)	ダブルス	川満・上原 2回戦敗退
	シングルス	上原 1回戦敗退 川満 1回戦敗退(棄権)
自転車	【個人】 宮城 スクラッチ2位 九州大会出場 3kmインディヴィデュアルパーシュート5位 4km速度競走4位、ロードレース(40km)7位 江川 スプリント8位 【団体】 4kmチームパーシュート 高専A(宮城・青木・洲鎌・長尾) 3位 チームスプリント 高専A(宮城・江川・洲鎌) 3位、高専B(安里・青木・長尾) 4位	



★★★ 平成 24 年度人事異動について ★★★

< 4月1日付け異動 >

【採用】 生物資源工学科
助 教 嶽本 あゆみ

学生課
教務係 前田 恵里奈

【再雇用】 情報通信システム工学科
特任教授 高木 茂

【転入】 情報通信システム工学科
教 授 松林 勝志

総務課
総務課長 金城 邦光

総務課
人事係長 島袋 朝輝

総務課
図書情報係長 大城 登樹子

【昇任】 総合科学科
准教授 名嘉山 リサ

総合科学科
准教授 古屋 淳

【配置換】 総務課
財務係 末吉 知恵美

総務課
契約管理係 比嘉 道也

学生課
寮務係 與那嶺 岳也

平成 24 年度全九州高校総体結果一覧

平成24年度全九州高等学校総合体育大会自転車競技における結果は以下のとおりでした。
保護者並びに関係者の皆様に感謝いたします。

競 技	競 技 結 果
自転車	宮城 スクラッチ12位 全国大会出場 、ロードレース27位 青木 ロードレース出場

平成 24 年度九州沖縄地区高等専門学校体育大会の結果について

平成24年7月13日(金)、14日(土)、20日(金)～22日(日)の期間で開催された「平成24年度九州沖縄地区高等専門学校体育大会」において、本校からバスケットボール部、ハンドボール部、水泳部、テニス部、硬式野球部、サッカー部、卓球部、男子バレーボール部及びバドミントン部が出場し、九州地区の各高専と対戦しました。

大会では各部ともに健闘し、日頃の練習の成果を存分に発揮することができました。特に女子バスケットボール部は優勝、水泳部(女子)は100m自由形、50mバタフライで第一位、100m平泳ぎで第二位という優秀な成績を収め、全国大会に出場する運びとなりました。



競 技	競 技 結 果	備 考
バスケットボール(男子)	【予選リーグ】…沖縄56—63都城/沖縄89—68佐世保 【決勝トーナメント】…沖縄60—78北九州	
バスケットボール(女子)	【予選リーグ】…沖縄49—25熊本(八代)/沖縄77—63北九州 【決勝トーナメント】…沖縄69—43都城/沖縄57—53有明	優勝(全国大会出場)
ハンドボール(男子)	【予選リーグ】…沖縄12—21北九州/沖縄19—18都城	
ハンドボール(女子)	【オープン戦】…沖縄9—10有明	
水泳(男子)	砂川100m自由形 予選敗退 大嶺100m自由形 予選敗退	
水泳(女子)	濱元100m自由形第1位、50mバタフライ第1位 金城(優)100m平泳ぎ第2位/金城(絵)50m背泳ぎ第6位	全国大会出場 濱元 100m自由形、 50mバタフライ、金城(優) 100m平泳ぎ
テニス(男子)	【団体戦】…沖縄3—0都城/沖縄0—3佐世保 【シングルス】…金城三回戦負け/諸久島二回戦負け/宮下一回戦負け/仲間一回戦負け 【ダブルス】…宮下・金城 ベスト8/宇良・尾風三回戦負け/上原・仲間一回戦負け/鉢嶺・諸久島一回戦負け	
テニス(女子)	【団体戦(オープン)】…第3位 沖縄1—2佐世保/沖縄0—3大分 【シングルス】…仲地 第3位/松井一回戦負け 【ダブルス】…仲地・仲里第3位/玉城・松井第3位	
野球	沖縄6—7大分	
サッカー	沖縄0—4鹿児島(前半0—0、後半0—4)	
卓球(男子)	【団体戦予選リーグ】…沖縄0—3鹿児島/沖縄1—3佐世保 【シングルス】…吉田 ベスト16/與那國三回戦負け/玉城三回戦負け/原田一回戦負け/ 渡慶次一回戦負け/古謝(秀)一回戦負け/古謝(良)一回戦負け 【ダブルス】…吉田・與那國一回戦負け/渡慶次・玉城一回戦負け	
卓球(女子)	【団体戦】…沖縄 一回戦負け 【シングルス】…山城ベスト4/渡保二回戦負け/町田二回戦負け/前里二回戦負け 【ダブルス】…渡保・前里ベスト4/山城・町田一回戦負け	
バレーボール(男子)	【予選リーグ】…沖縄0—2熊本(八代)(16—25、17—25)/沖縄0—2佐世保(12—25、4—25)	
バドミントン(男子)	【団体戦】…沖縄 第三位 【シングルス】…伊波二回戦負け/伊差川二回戦負け/俵二回戦負け/玉城一回戦負け/ 金城一回戦負け/屋良一回戦負け 【ダブルス】…屋良・玉城二回戦負け/伊差川・伊波二回戦負け/倉山・新川一回戦負け	
バドミントン(女子)	【団体戦】…沖縄 一回戦負け 【シングルス】…瑞慶覧第三位/久貝二回戦負け/川満一回戦負け/上原一回戦負け 【ダブルス】…瑞慶覧・久貝ベスト8/當山・川満二回戦負け	

★★★ 平成 24 年度人事異動について ★★★

<7月1日付け異動>

【転入】 総務課
課長補佐(研究連携) 小渡 志保子
総務課
契約管理係長 屋宜 俊介
総務課
施設係主任 糸数 康
学生課
学生係 藤山 瞳

【転出】 総務課
契約管理係長 中村 範章
総務課
施設係主任 宮良 透
学生課
学生係長 森山 喜代美

平成24年度(後期)行事予定表

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	月	1	木	1	土	1	火	1	金	1	金
					↓		元旦		↓		卒業認定会議
2	火	2	金	2	日	2	水	2	土	2	土
3	水	3	土	3	月	3	木	3	日	3	日
	消防訓練(予定)		文化の日 県高校新人体育大会								
4	木	4	日	4	火	4	金	4	月	4	月
5	金	5	月	5	水	5	土	5	火	5	火
6	土	6	火	6	木	6	日	6	水	6	水
							開寮		予備日 専攻科後学期 期末試験		進級認定会議
7	日	7	水	7	金	7	月	7	木	7	木
			学生寮月例大掃除						予備日		入学説明会
8	月	8	木	8	土	8	火	8	金	8	金
	体育の日				ツデーマーチ (学生会主催)				後学期期末試験		
9	火	9	金	9	日	9	水	9	土	9	土
			臨時休業日								
10	水	10	土	10	月	10	木	10	日	10	日
	文化競技大会 (学生会主催)		高専祭 学校説明会 (高専祭)(予定)		推薦及び専門実習選抜 願書受付		学習到達度試験(3年)				
11	木	11	日	11	火	11	金	11	月	11	月
			↓						建国記念の日		
12	金	12	月	12	水	12	土	12	火	12	火
			臨時休業日				本科推薦選抜試験				
13	土	13	火	13	木	13	日	13	水	13	水
	全国高専プログラミング コンテスト		月曜日の授業								
14	日	14	水	14	金	14	月	14	木	14	木
			金曜日の授業				成人の日				
15	月	15	木	15	土	15	火	15	金	15	金
			予備日				木曜日の授業 文化交流もちつき大会 (WSB, 学生会)		専攻科修了認定会議		
16	火	16	金	16	日	16	水	16	土	16	土
			後学期中間試験		学位授与試験(小論文)		後期球技大会 (学生会主催)				卒業式 専攻科修了式
17	水	17	土	17	月	17	木	17	日	17	日
	第三回定期学生会議 学生寮月例大掃除						推薦選抜判定会議				
18	木	18	日	18	火	18	金	18	月	18	月
							推薦選抜判定結果通知		試験返却日 校内美化清掃 (学生会主催)		
19	金	19	月	19	水	19	土	19	火	19	火
					校内美化清掃 (学生会主催)		本科専門実習選抜試験				
20	土	20	火	20	木	20	日	20	水	20	水
					学生寮居室点検・清掃				第四回定期学生会議		春分の日
21	日	21	水	21	金	21	月	21	木	21	木
	ロボットコンテスト 九州・沖縄地区大会								終業式 学生寮居室点検・清掃		
22	月	22	木	22	土	22	火	22	金	22	金
					閉寮式						
23	火	23	金	23	日	23	水	23	土	23	土
	TOEIC IPテスト(4年)		勤労感謝の日		天皇誕生日 閉寮		専門実習選抜判定会議		閉寮式		
24	水	24	土	24	月	24	木	24	日	24	日
					振替休日 寮整備・完全閉寮		専門実習選抜判定結果通知		学力及び帰国子女選抜試験 閉寮		
25	木	25	日	25	火	25	金	25	月	25	月
	TOEIC IPテスト(5年)		ロボットコンテスト 全国大会		臨時休業日		推薦選抜確約書提出期限		臨時休業日 寮整備・完全閉寮 学力及び帰国子女選抜採点 学位授与機構へ専攻科 単位修得証明書送付期限		学年末休業
26	金	26	月	26	水	26	土	26	火	26	火
			後学期中間試験 (複数同時実施科目)		冬季休業						
27	土	27	火	27	木	27	日	27	水	27	水
	地域清掃(学生会主催)								学力及び帰国子女選抜 試験判定会議		
28	日	28	水	28	金	28	月	28	木	28	木
			予備日 研修旅行(3年)				学力及び帰国子女選抜 願書受付		学力選抜判定結果通知		
29	月	29	木	29	土	29	火	29	金	29	金
30	火	30	金	30	日	30	水	30	土	30	土
31	水	31	月	31	月	31	木	31	日	31	日
	校内美化清掃 (学生会主催)										
備考	・閉寮 9月22日 ・開寮式 9月23日 ・後学期授業開始 9月24日	・沖縄高専フォーラム(予定)		・クリスマスツリー掲示 (12/17~12/21)(学生会) ・冬の寮祭(寮生会) ・ブックハンティング (学生会図書委員イベント)		・校内合同企業説明会			・北部地域産学連携フォーラム (予定)		・教育・研究情報交流会(予定)